

2014年度 事業計画案（2014年7月1日～2015年6月30日）

I 事業実施の方針と概要

現在、政府も関係団体も2025年を見据えた「医療と介護の提供体制」をどのように構築するかが最重要課題となっている。2014年度は「医療介護総合確保推進法」が成立し、その具体化への最初の取り組みが始まる年度となる。

そのような観点から、当協議会の本年度の取り組みの基本方針は、

- 1.2025年を見据えた地域医療計画を充実させるための患者・市民としての視点から取り組んでいく。
- 2.これまで取り組んできた「医療基本法」制定に向けて引き続き関係団体と協力し取り組んでいく。
- 3.医療の質、介護の質の格差解消と均てん化に患者の視点から取り組む。

II 事業計画

1. 勉強会の開催

第26回勉強会

日時：2014年7月26日(土)13:30～

テーマ：こんなに大きい医療格差～患者視線の均てん化目指して

基調報告

「リウマチ医療における格差～患者団体にできる現状把握と政策提言～」

（日本リウマチ友の会会長 長谷川三枝子）

ミニ報告

- 「周産期医療の格差の現況～各種指標の都道府県格差など」
（医療政策実践コミュニティー3期生 日本看護協会 中村奈央さん）
- 「がん医療の格差の現況」
（NPO法人ブーゲンビリア理事長 内田絵子さん）
- 「在宅ケアの現況～訪問看護と在宅看取り率など」
（全国訪問看護事業協会理事長、当協議会副代表世話人 伊藤雅治）
- 「健康医療格差とデータヘルスの現況」
（国民健康保険中央会常勤参与 鎌形喜代実さん）

解説

「格差の全体像と今後の対策マップ～求められる戦略と工程」

（東京大学公共政策大学院 特任教授/当協議会世話人 埴岡健一）

パネルディスカッション

(コーディネーター：福生あせび会/当協議会世話人 本間俊典)

第27回勉強会

日時：2014年9月13日(土)14:00～16:30

テーマ：

講師：

第28回勉強会（共催）

日時：2014年10月5日(日)

テーマ：医療基本法シンポジウム制定に向けて

講師：

第29回勉強会

日時：2014年12月6日(土)13:00～16:00

テーマ：(仮)地域医療計画ガイドラインについて

講師：

第30回勉強会

日時：2015年2月7日(土)13:00～16:00

テーマ：難病と地域包括

講師：

2. 広報・提言活動

各勉強会のまとめをテーマごとに要望書とし、見解を発表していく。

3. 医療政策部会

世話人会に「医療政策部会」を設置し、担当者により積極的展開を行う。

4. 正会員との情報共有

メーリングリストにより世話人会での検討内容、決定内事項などを共有する。

Ⅲ 世話人会の開催

概ね月に一回を目安に世話人会を開催し、勉強会のテーマや本会の活動方針などを議論し決定し実施する。